



令和 8年 1月14日
青ヶ島村立青ヶ島小学校
校長 天花寺 正巳
栄養士 松澤 美帆

あけましておめでとうございます。充^{じゅうじつ}実^{ふゆやす}した冬^す休みは過^あごせましたか？
今年^{ことし}も、皆^{みな}さんが健^{すこ}やかな心^{こころ}と体^{からだ}で成^{せい}長^{ちやう}していけるよう、給^{きゅうしょく}食^{しょく}でサポ^さー
していきま^す。本年^{ほんねん}も、どうぞよろしくお願^{ねが}いいたしま^す。



1月の給食目標：食生活と文化について知ろう

1月24日から30日までは**全国学校給食週間**です。ふだんみなさんが当たり前のよう^あに食^たべている給^{きゅうしょく}食^{しょく}は、一^い体^{たい}ど^どのよう^{よう}に始^{はじ}まったのでし^しょうか。この機^き会^{かい}に、学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}の歴^{れき}史^しを知^しり、その意^い味^みや役^{やく}割^{わり}につい^てて考^{かんが}えてみま^しょう。

学校給食のはじまり

明治22(1889)年、山形^{やまがた}県^{けん}の小^{しょう}学^{がく}校^{こう}で、貧^{まい}しい子^こ供^{ども}た^たちへ食^{しょく}事^じを提^{てい}供^{きやう}したのが、日^に本^{ぽん}の学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}の始^{はじ}まりです。大^{たい}正^{しやう}12(1923)年^{ねん}には、子^こ供^{ども}た^たちの栄^{えい}養^{やう}状^{じやう}態^{たい}を改^{かい}善^{ぜん}するた^ための方^{ほう}法^{ぽう}と^として、各^{かく}地^ちへ広^{ひろ}が^がりま^したが、戦^{せん}争^{そう}に^によ^よる食^{しょく}料^{りやう}不^ふ足^{そく}で一時^{いち}中^{ちゅう}断^{だん}され^れてしま^しいました。

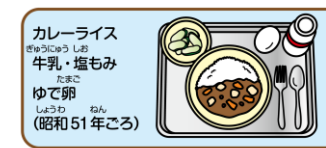
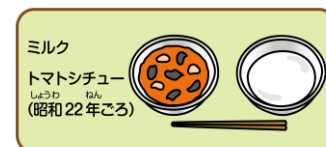
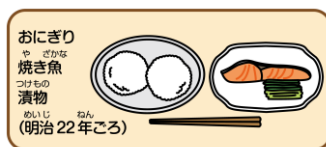
支援物資による学校給食の再開

戦^{せん}後^ご、子^こ供^{ども}た^たちの栄^{えい}養^{やう}状^{じやう}態^{たい}の悪^{あく}化^かを心^{しん}配^{ぱい}する声^{こゑ}が高^{たか}まり、昭^{しょう}和^わ21(1946)年^{ねん}12月^{がつ}24日^かにLARA(アジ^{きやう}ア^{えん}救^{きう}援^{えん}公^{こう}認^{にん}団^{だん}体^{たい})から支^し援^{えん}を受^うけて、学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}が再^{さい}開^{かい}され^れま^した。冬^{ふゆ}休^{やす}みと重^{かさ}なら^らないよう^{よう}に、1月^{がつ}24日^かからの1週^{しゅう}間^{かん}を**全国学校給食週間**とす^することにな^なりま^した。

バラエティー豊かな献立内容に

昭^{しょう}和^わ29(1954)年^{ねん}に**学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}法^{ぽう}**が成^{せい}立^{りつ}したこ^ことで、学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}は教^{きやう}育^{いく}活^{かつ}動^{どう}の1つ^いに位^ち置^しづけられ^れま^した。主^{しゅ}食^{しょく}はパ^{ちやう}ンが中^{ちゅう}心^{しん}でし^したが、昭^{しょう}和^わ51(1976)年^{ねん}に米^{まい}飯^{はん}が正^{せい}式^{しき}に導^{どう}入^{にゅう}され、カ^たレー^こライ^きスや炊^たき込^こみご^ご飯^{はん}などが登^{とう}場^{じやう}し、献^{けん}立^{だて}内^{ない}容^{よう}が充^{じゅう}実^{じつ}してい^いきま^した。

このよう^{よう}に、学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}の内^{ない}容^{よう}は時^じ代^{だい}ととも^{とも}に化^{へん}化^かしてい^いきま^したが、いつの時^じ代^{だい}も変^かわらず^{らず}に、「子^こ供^{ども}た^たちがおいしく食^たべて健^{すこ}やか^かに成^{せい}長^{ちやう}で^できる」よう^{よう}に考^{かんが}えて作^{つく}られ^れてい^いま^した。現^{げん}代^{だい}では、自^{みづか}ら考^{かんが}えて健^{けん}康^{こう}な食^{しょく}生^{せい}活^{かつ}を続^{つづ}ける大^{おとな}人^{にん}にな^なれるよう^{よう}に、学^{がっこう}校^{きやう}給^{きゅうしょく}食^{しょく}は教^{きやう}材^{ざい}とし^{して}の役^{やく}割^{わり}も担^{にな}っ^てい^いま^した。



児童・生徒の食への関心を高める工夫！

～給食取り組み紹介～ 「旬の食材ビンゴ」

今年度の7月と12月に、旬の食材ビンゴという企画を実施しました。この企画は、児童・生徒が日頃の給食に入っている食材に興味を持ち、その食材の旬を意識しながら食事ができるようになることを目指して考えたものです。ぜひご家庭でも、食事の中で旬について話題にしてみてください。

○そもそも旬とは

野菜などは種類や地域によって、収穫できる時期に違いがあります。旬という言葉は、今のように色々な栽培方法がなかった頃、その地域で食材がたくさんとれる時期のことを言いました。

旬の時期の食材は特においしく、その時期の私たちの体に必要な栄養が多く含まれています。また、旬の時期は食材が安く手に入るなど、旬の食材を意識して食べることは、健康や生活の面で良いことがたくさんあります。

○取り組方法

- ① 給食で登場する予定の食材の中から、旬だと思う食材を選び、ビンゴカードに記入する。
- ② 給食の時に、その日の給食に使われている旬の食材を確認し、自分が選んでいたらシールを貼る。
- ③ ②を毎日繰り返し、ビンゴを目指す。



9つ全て旬の食材を選ぶことができた方には、給食のリクエスト券がもらえるという特典があり、先生方とともに、児童・生徒も意欲的に取り組んでいました。冬休みもぜひ、ビンゴを思い出して、旬の食材をたくさん食べてみてください。



12月のキャロットスター

12月のキャロットスターは、全体で2つ隠しました！当たったのは、小学校3年生の児童と、中学校1年生の生徒でした。おめでとうございます！

Q、2026年になったらやりたいことは？

児童

フォートナイトというゲームを
たくさんしたい！

生徒

久しぶりに兄弟3人そろうので、
3人で野球がしたい！